

トッランナー要件を満たした企業の取組紹介

取組名	企業名
運輸業におけるEV導入と再生可能エネルギーの活用によるGHG削減	ヤマトホールディングス株式会社

取組情報



2023年より全国に順次導入している2トントラックEV「eCanter」



全車両EVのエネルギー管理モデル営業所
(京都八幡営業所)



交換式バッテリー走行 軽商用EV
「MEV-VAN Concept」

○認定日
2024年4月10日

○該当分野
(a)脱炭素社会への移行に係るもの

○取組の内容
2030年GHG自社排出量48%削減（2020年度比）の実現に向け、2030年までにEV23,500台導入という目標を掲げ、各サプライヤーと実証を重ねながら、全国に順次導入を進めています。
全車両EVのエネルギー管理モデル営業所では、太陽光発電設備を導入し、電力平準化システムによって、夜間のEV一斉充電による電力供給ピークの偏りを緩和するなど、運輸業におけるEV運用課題の解決をはかっています。また、再エネ電力を最大限活用するため、再エネ電力を充電した交換式バッテリーを用い、軽EVの集配業務実証も行っています。

○取組の判定とポイント
先進性 / 独自性 / 波及効果
運輸業界において、いち早くEVや低炭素車両の導入し、実証に向けた取り組みを実施していることから、先進性があることが認められる点。また、業界独自のアプローチかつ社会全体への波及効果も大きい点。

○内容に関する情報ページURL
[ヤマトホールディングス エネルギー・気候への取り組み](#)
[電気小型トラック「eCanter」新型モデル約900台を全国に導入](#)
[ヤマト運輸初、京都・八幡営業所に全車両EV導入エネルギー管理を行うモデル店として本格稼働](#)
[交換式バッテリーを用いた軽EVの集配業務における実証を2023年11月から開始](#)